

事業所横断サステナビリティアクション推進活動「清掃活動」
報告レポート

■はじめに

株式会社 横浜八景島では、西武グループが策定した方針に基づいて、すべての人々、生きものたちが未来にわたって健やかにくらし続けていけるように、サステナビリティアクションを推進しています。今回、7月19日(月・祝)「海の日」にちなみ「海のプラスチックゴミ問題」に焦点を当てた取り組みを実施しました。

■活動報告

横浜・八景島シーパラダイス **マクセル アクアパーク品川**

7月19日(月・祝)「海の日」、7月26日(月)、8月2日(月)の3日間、横浜市金沢区八景島周辺の清掃活動を実施しました。「横浜・八景島シーパラダイス」がある八景島に日々多くのお客さまがいらっしゃいます。一方で周辺人口の多い東京湾に浮かぶ立地のため、さまざまなお客さまからごみが流れ着き、海岸沿いやシーパラにある海の上の水族館「うみファーム」にもたくさんの海洋ごみが流れ着いてきます。今回、海の生きものたちに影響を与えるプラスチックゴミを中心に「横浜・八景島シーパラダイス」と「マクセル アクアパーク品川」のスタッフが合同で清掃活動を行い、3日間で合計41名の従業員が参加しました。海沿いには、お菓子の包装や空き缶、ペットボトルなどのごみが多く見受けられました。

このような活動を継続して行うことで、海の生きものや環境の保全について考えていきます。



仙台うみの杜水族館

仙台うみの杜水族館は、8月8日（日）に宮城県仙台市若林区荒浜の深沼海水浴場で開催された「深沼ビーチクリーン」に参加しました。

深沼海水浴場は仙台市唯一の海水浴場として多くの方が訪れる場所です。2011年3月11日、東日本大震災の津波により、全域が浸水し住むことのできない地域になってしまいましたが、地元の方々の活動で、少しずつ豊かな自然の姿が戻ってきています。そんな深沼海水浴場で実施される「深沼ビーチクリーン」の活動に共感し、スタッフ5名が参加させていただきました。

この日は台風の影響で、通常よりも参加者は少なかったようですが、それでも100名程度の方が活動に参加されていました。ご家族で参加された方や若い方々もおられ、非常に幅広い年齢の方が参加されている印象でした。海が荒れていたこともあり、漁網、ビニールシート、バケツなどやや大きめのごみも多く、参加者で力を合わせてごみを集めることができました。

この地域は東日本大震災の際、仙台市で一番被害があった地域です。しかし地元の方々の手により、長く愛されているこの土地が、再び豊かな土地になっていることに深く感銘を受けました。とても意味深く、心を動かされ考えさせられた1日となりました。

夏休み期間中であったため、この日は特別にビーチクリーン活動の後、水族館独自に、海岸で拾ったごみを使った万華鏡づくりのワークショップを実施し、4組9名の方にご参加いただきました。

参加者の中には小さなお子さまもいらっしゃり、海をきれいにするビーチクリーンと自分で拾ったごみを使ってのワークショップ体験を通し、さまざまな学びをお持ち帰りいただきました。



上越市立水族博物館 うみがたり

上越市立水族博物館 うみがたりでは、7月31日（土）と8月1日（日）に「エコもっと free」と題した清掃活動を実施しました。「エコもっと free」は毎月第1日曜日に実施しているプログラムで、誰でも自由に参加することができます。今回のテーマは【海の生きものと環境との関わりを学ぼう】。参加者とスタッフあわせ1日目20名、2日目21名で清掃を行いました。

<1日目>

天候にも恵まれた1日となりました。はじめに、スタッフよりレクチャーを実施。海洋ごみがもたらす生きものへの影響やSDGsについて話をしました。ビーチクリーン活動では、拾ったごみの大半が、ペットボトルなどのプラスチックゴミ。ごみの多さに皆さん驚きながらも、楽しんでご参加いただきました。

<2日目>

快晴のもと、13名の方にお集まりいただきました。

参加した方からは「海洋ごみの多さに驚いた」「人間のせいで動物たちを苦しめるようなことがあってはいけない」などのお話がありました。

これからも私たちは「持続可能な社会実現」のため、海洋環境問題に積極的に取り組んで参ります。



羽村市動物公園

羽村市動物公園では、7月26日(月)に従業員6名で多摩川河川敷の清掃活動を実施いたしました。蒸し暑い日だったため、熱中症に注意をしながら行いました。

羽村市動物公園からほど近い場所にある多摩川河川敷は、近隣にお住まいの方が散歩やスポーツを行うために利用する憩いの場です。人が多く集まるため、ごみも多く見受けられました。中でもタバコの吸い殻やバーベキューをした際に使ったと思われる割りばしや紙皿等が多く捨てられていました。しっかりとごみの後始末まで行うことが重要であると再認識する活動となりました。清掃活動の最中には、散歩で通りがかれた市民の方に多くお声がけいただきました。

羽村市動物公園では今後もこうした活動を継続的に実施し、環境美化と市民の皆さまとのコミュニケーションをはかっていきます。



Xpark

台湾の水族館「Xpark」では、8月4日(水)にビーチクリーン活動を行いました。今回は、Xparkのスタッフだけではなく、地元の方々と構成されている「桃園海浜パトロール隊(桃園海巡護隊)」も参加し地域をあげての活動となりました。参加人数は総勢20名で、1時間ほどの清掃活動を実施しました。

清掃活動を行ったのは、Xparkから車で30分ほどの「ベンガンビーチ(笨港沙灘)」です。約9kmの海岸は、砂浜と砂利浜で形成されており、地元の方々が釣りや海水浴で訪れる憩いの場です。海岸沿いには、漁業用フロートをはじめとしたさまざまな海洋ごみが流れ着いていました。

このイベントをより象徴的なものにするため、私たちは、ビーチクリーンで回収した2つのフロートに、Xparkと桃園海浜パトロール隊(桃園海巡護隊)をイメージした絵を描き、それを海洋客家レジャー農業区観光サービスセンター(海洋客家休閒農業區遊客服務中心)館内に飾ることにしました。

また、台湾での新型コロナウイルスの感染拡大防止期間中に日本から寄贈されたワクチンに感謝するため、ビーチクリーンに参加した全員が台湾と日本の友情をプリントしたマスクを着用し、感謝の気持ちを表するとともに、両国間の友情をあらためて確認しました。

以前、Xparkは「世界海洋デー」期間中に上記の団体と協力して、浅瀬に乗りあげたトンガリサカタザメのなかま(無斑龍紋鱈 Taiwanese wedgefish)を保護し、Xparkにて治療を行い、魚の状態が安定したうえで海に戻しました。Xparkは、初心を忘れず、地元の方々とともに台湾の海の生きものや海洋環境の保全に貢献してまいります。

